

## V 自由意見

問 16 我が家の地震対策・同報無線について、あなたが日ごろ感じていることを自由に記入してください。

### 地震対策／内容について(83 件)

- 決まり事をしっかりと決めていないため、工作中など連絡がつかなくなってしまう。しっかり決めなくてはいけないと思った。(男性 20 代)
- 非常用備蓄品を多く用意したいが、借家ではスペースに限界がある。(男性 20 代)
- 家族全員が無事かどうか確認する。家族一緒にいるときはよいが、学校などで家族ばらばらになっているときの行動の仕方などを話し合っている。(男性 30 代)
- 出入口には物を置かないようにしている。(男性 30 代)
- 今後、家を建てたり購入したりするときは気にするが、賃貸である以上、そこまでの対策はできない。(男性 30 代)
- 昨年、家を新築し、耐震に対しての不安はないが、災害が起きたときの生活物資を用意していないので今後少しずつそろえようかと思っている。(男性 30 代)
- 富士市に引っ越してくる前、北関東に住んでいて、東日本大震災の被害に遭った。一週間はライフラインが復旧せず、近所のスーパーは2か月近く閉店してしまい、大変苦労した覚えがあるが、富士に来てから防災対策をしておらず、自覚が足りないと反省した。行政に頼れない状況下では、自身の備えが第一なので、できることはやっておこうと思う。(男性 30 代)
- 緊急時の連絡先、避難場所について、きちんと決めていないので考える必要があると感じた。同報無線は場所によって非常に聞き取りにくいので、もう少し聞き取りやすくしてほしい。(男性 30 代)
- 非常用備蓄品を用意したい。(男性 40 代)
- 避難所など、わかりやすいように表示があればよいと思う。(男性 40 代)
- 地震対策（家具の転倒防止、保存食・飲み物の備蓄）をもっと進める。(男性 40 代)
- 対策として、非常食・懐中電灯などは準備している。簡易トイレは、今後準備を考えている。家族の居場所がばらばらなので、万が一の災害のときの安否確認、集合場所などの話し合いができていないので、決めておく必要がある。(男性 40 代)
- 保存食、賞味期限、価格、種類などよいものがわかれば…。(男性 40 代)
- 家族がそろっているときに災害が発生するとは限らない。小学生の子どもがいるので、防災訓練の充実を求める。難しいかもしれないが、抜き打ちでの避難訓練などを通し、いざというときに対応できる状態であってほしい。(男性 40 代)
- 家具の転倒防止の方法や、それに必要な器具や部材がよくわからない。大地震時の行動や避難場所が明確になっていない。大地震時に自治体のサポートや情報提供がどのような内容なのか知りたい。(男性 50 代)

## V 自由意見

- 食料や飲み水などの備蓄をしている。身体の安全を確保することが重要と考えている。また、災害が発生した際には、近隣の皆様や町内の人たちとの協働が大切であろうと思っている。同報無線については、市内の情報を知る上で大切であると考えている。(男性 50代)
- 地震対策は一応実施しているが、3年ごと(5年ごと)の、食料品及び水の入れかえは、結構大変だ(お金もかかる)。最近はできていない。(男性 50代)
- 地震対策について、実際大きな地震が発生すると思うが、その対策をやっている、実際に役に立つとは思えない。例えば、非常食を準備してあってもそれがいざというとき役に立つとは思えない。でも、対策はやったほうがよいと思う。(男性 60代)
- ブロック塀が老朽化し、気になっているが、修理またはつくり直しには多額な費用がかかるため悩んでいる。(男性 60代)
- 災害対策として外の冷蔵庫に3日分くらいの食料品を備蓄し、そのほかテントなどの準備をしてある。無線は情報として必要である。町名がふえたのか、新しい町名では位置がわからないときがある。(男性 60代)
- 地震が発生したら、おさまってから外に出るようにする。(男性 60代)
- 部屋の中心部や家屋の屋外には、不要な物は余り置かない。(男性 60代)
- 我が家の木造住宅の基礎部分に2011年3月11日か3月15日(静岡県東部地震)が原因と思われる20か所以上の大きな亀裂が最近になって発見された。業者の見積もりでは、外周29メートルあり、修繕工事代が440万円と言われている。こういう工事は火災保険の対象にならないものか、地震対策上からも修繕工事は実施せざるを得ないと悩んでいる。(男性 60代)
- 防災備品は20年以上備えているが、中身を使用しながら更新している。最近では安全を確認しながら、自宅待機がよいだろうと思っている。富士山噴火の心配がないわけではないが、防災マップで溶岩が流れるルートではないので、気にしないこととしている。同報無線は聞こえるのだが、富士市防災ラジオをつけて聞くようにしている。(男性 60代)
- 地区で決められている避難場所は津波で危険だと思うので他地区へ行く。(男性 60代)
- 自分の身体を安全な場所に移動する。(男性 60代)
- 災害は突然やってくるもので、そのときにああしよう、こうしよう、と思うことは余りない。ただ2~3日は自分の家のことは衣食が足りるよう準備はしている。家のことは、そのときになってみなければわからない。(男性 60代)
- 過去の災害記録があれば参考になる。地質地形学的な解説がほしい。(男性 70歳以上)
- 地震対策として非常用品は常に心がけて、訓練時には、期限の確認、入れかえなどは行っているが、家具の転倒防止について一部のたんすのみの対策にとどまっており、今後のことを思い全部の危険箇所の転倒防止対策をしたいと思っている。同報無線について、防災ラジオが2台(1階、2階)ある。特に冬は昼間も夜も窓(サッシ)を閉めていて外のスピーカーからの放送が聞き取りにくかったことを思うと、近所で持っていない人には設置をすすめたいたいと思っている。(男性 70歳以上)
- 畑の中の一軒家なので雨風はしのげるが、補強か建てかえの時期に来ていて、話し合いの中で前進しないのは資金の問題。同報無線は、最近放送が流れ始めても犬のほえる声と重ならなくなり、非常に聞きやすくなった。(男性 70歳以上)

- 地震対策については2011年の東日本大震災に続き、3月15日富士宮を震源とするマグニチュード6.4、富士は震度5弱の地震を体験して、家具の固定と食料・水の備蓄など、できることは全てやっているが心配は尽きない。富士山の噴火にも備えなければと思う。同報無線については丁寧な取り組みで安心している。ただアナウンサーによっては、音量はあっても聞き取りやすい人と聞き取りにくい人があるようで工夫をお願いしたい。(男性 70歳以上)
- 日ごろ、「ふじのくに防災士」として役割を認識している。自主防災訓練ほか、訓練指導している。富士市内の「防災士」のメンバーと行政との接触が必要。事業所のBCP策定状況について富士市内企業だけでも調査できないか、地域との連携について積極的な企業はPRすべき。災害時の従業員対策、市民（地域）と協働できる範囲はないかなど。(男性 70歳以上)
- トイレの排水用として、風呂を使用後、水のある程度の量をため備えている。非常時に持ち出す貴重品などを枕元に置いて準備している。シューズと素早く着がえられるよう衣類も近くに置いてある。(男性 70歳以上)
- 簡易トイレやカセットコンロなど、必要なのはわかっているが、値段が高く後回しにしまい用意できていない。自主防災会の活動も人数が多く、出席しても何もせず終わることがよくあり、わからない。同報無線は、家の立地上、二重に聞こえ、窓を開けて耳を澄まさないで聞こえないことのほうが多く、しっかり聞いていないと思う。(警報発表時の音はよく聞こえる) (女性 20代)
- 非常用備蓄品は、定期的に家族でチェックしなければならないと改めて実感した。(女性 20代)
- 備蓄品等の用意はしているが、賞味期限などの確認を忘れがちであるので気をつけなければならないと思う。(女性 20代)
- とにかく子どもの使う物を多目にストックしておく。(特におむつなど) (女性 20代)
- 地震はいつか起こると思っているが、何をしてよいかわからないので何もできていない。(女性 30代)
- 市や地域で準備してあるもの（個人で準備したほうがよいもの、特に必要のないもの）が明確にわかると助かる。また災害時、どこにいるかわからないので、近くに避難場所がどこにあるかわかる標識のようなものが至るところにあってもよいのではないかなと思う。(電柱や信号機などにつける) (女性 30代)
- 耐震補強や家具の固定の必要性は理解しているが、市役所窓口へ出向いて相談をするのか、個人のことなのかかわからない。人が家へ入ることを考えると何となく後回しになってしまう。地震はいつ起こるかかわからないが、家についてももう少し危機感を持つべきなのではと思う。築40年の古い木造住宅でも、最大限、家を守るためにできることはどんな方法があるのか。土台部分や壁、柱など、“家”のつくりがどうなっていて、何から考えればよいか、どういう作業が必要かわからない。(女性 30代)
- 地域の防災訓練は、実際に地震や富士山の噴火が起きたとき、具体的にどのように動けばよいのかという実効性が足りないと感じる。(女性 30代)
- 地震があったときは、備えをしたが、期限が切れて食べてしまい、その後は何もしていない。しようと思っただけはいるが、できていないのが、今…。(女性 30代)
- 最低限、水の確保はするつもりである。(女性 30代)
- ガラスの飛散防止を早急に実施したい。(女性 30代)
- とりあえず各自、自主避難。実家に集合することになっている。(女性 30代)

## V 自由意見

- 引っ越しを契機にテレビや家具などを倒れないようにした。 (女性 30代)
- 窓の飛散防止フィルムを貼りたいとは思っているが、業者に頼むとお金がかかり、自分でやるとなると手間と技術が要り、どうしようかと考えているうちに今に至っている。冷蔵庫やテレビの転倒防止の器具をホームセンターで購入して、夫に取りつけてもらったが、簡単に手で外れてしまったり、両面テープが壁からすぐに剥がれてしまったりで、商品としてちゃんとしたものなのかと疑問に思う。(取り付け方が悪いのかもしれないが。)防災グッズをチェック(精査)している機関などはあるのか。 (女性 40代)
- ほかの家の地震対策・非常持出品や備蓄品などを、家族構成も含めて紹介してほしい。 (女性 40代)
- もう少ししっかり食料、水、医療品などを備蓄したい。 (女性 40代)
- 地震が多いので家族が別々の場合の集合場所を考えている。 (女性 40代)
- 1人当たりの水の備蓄に困っている。重くて場所をとる。 (女性 40代)
- 障害児もいるので、処方薬は日ごろから多目にもらっている。物置、玄関に非常用品をセットしてある。 (女性 40代)
- 「非常用備蓄品」は一応用意しており、食品の賞味期限などは注意しているが、その他の物をもう一度見直そうと思う。 (女性 40代)
- 地震対策は全然足りないと思う。持って逃げる物と、家に置いておく物の差がわからない。同報無線は、何か放送しているという感じで、よく聞こえない。窓を開けたら終わっていてよくわからなかったりする。 (女性 40代)
- まちづくりセンターごとの障害者用トイレの有無の情報が欲しい。 (女性 50代)
- 自宅は借家なので家具などが固定できない。重い物・大きな物はなるべく下に置いている。同報無線は聞き取りづらく、わからないままになることが多い。 (女性 50代)
- 1週間分の食品、飲料水の備蓄についての必要性はわかるが、家族(5~6人)分となるとそれらを保管する場所がなかなかとれない。少しのスペースで収納する方法を教えてください。同報無線については、天気(雨)、風向き、また道路の交通量によって全然聞き取れないこともある。必要などきに確実に聞けるようにしてほしい。 (女性 50代)
- 我が家は津波の心配がある場所なので家族全員がそれぞれの居場所から安全な高い所へ逃げるように話している。落ちついてからの待ち合わせ場所は中学校の玄関に朝7時もしくは夜7時になったら集まることにしている。同報無線は聞こえづらいのが困る。何と言っているのかわからない。 (女性 50代)
- 災害発生時の非常持ち出し品のリストに沿って準備している。また、有事のときは、「待ち」や「してもらいたい」でなく、自分たちでできることからやっっていこうと思っている。 (女性 50代)
- いざというときのために購入していた富士市の防災ラジオの電波状況が悪くて役に立たず残念だ。何でもそうだが、すぐ使えるように日ごろから使用して準備しておくことが大切だと思った。手回しランプも1~2時間使用するのに手が疲れて普通の懐中電灯を数本用意したほうがよいようだ。食品もカップ麺の賞味期限があるので食べたが、日ごろこういう物を食べ慣れていないせいかわが痛くなり、災害のときはちょっと向かないと痛感した。 (女性 50代)

- 先日、娘の下宿先で震度5弱の地震があり、娘の無事を携帯で慌てて確認した後、3.11以降入れかえていなかった防災用ナップを点検した。水や乾パンの消費期限が切れていたり、ラジオの中の電池が液もれしていたり…。やはり毎年の点検が必要だと思った。同報無線については携帯で確認して役立てている。(女性 50代)
- 家具や電化製品はほぼ固定してある。寝室にはたんすや本箱など倒れて危険な家具は置かない。同報無線は大変重要なので注意して聞き行動している。(女性 50代)
- 地震に対しては、とにかく火を出さないこと、火災対策が個人、地域に求められる重要課題と考える。器具的にも立ち消え安全装置つきのものがふえ、行政指導もなされてきていると思うが、再度、電気、ガスなど見直して安全確認をしたほうがよいと思う。同報無線については、仕事で日中家を離れているので、情報を得ることができ、とてもありがたいと思っている。メールでの配信も受けているので確認できる。メール配信を知らない人が多いのでは。とても便利なので、もっとアピールしたほうがよいのではないか。(女性 50代)
- 我が家の地震対策として、2年前に家をリフォームした際、高さのある家具は廃棄した。食料は、常に多目に買い込んである。同報無線は、できるだけ早目の放送をしてほしい。(女性 60代)
- 持ち出す荷物は1か所にまとめている。(女性 60代)
- 我が家の道路側の石垣が古く、高い所は150センチメートルくらいある。地震発生時、危険のため撤去したいと思うが、高額のため実行できずにいる。(女性 60代)
- 主人が自主防災会の役員になったこともあり、我が家では自宅が壊れない限り、2、3日は過ごすことを目標にして水、お茶、食料をできるだけ準備している。下水道が利用できなければ、畑の一角に準備することなど日ごろ話している。避難場所までは東名高速をくぐることもあり、無事に行けるかどうかもわからないので。(女性 60代)
- 我が家は古民家ではあるが基礎が普通以上にしっかりしているようだ。しかし、屋根(入母屋)の瓦が重いのが難点であり、耐震など近い将来考慮したいと思っている。(女性 60代)
- 24時間、1月～12月まで1年いつ、どんなとき、どのような状態、まさしく地震はいつ起こるかわからない。いろいろシミュレーションを考えてみても何か不安ばかりで、具体的にどんなことに注意し、何を用意し、どう行動するかという考え方や、地域の取り組みを、もっと町内会で勉強会を開いて学びの機会を与えてほしい。(女性 60代)
- 地震情報を常に聞くようにし、常に食糧や水などの備えを確認しておく。すぐに家の外へ逃げられるようドアなどを開けて通路の確認をしておく。常に地震が起こる可能性があるので、毎日できることから見直しをして危機感を持って生活していきたい。高齢者が多くなってきたので、注意が必要だと思う。(女性 60代)
- ピアノの固定ができない。(女性 60代)
- たんすの上に少し物を載せてあるので、もっと低い所におろさなければいけない。(女性 60代)
- 地震対策としては、食料・飲料水の確保。なるべく、体の不調のある人を事前に知っておき、また、高齢者も近所にいるので、緊急時はお互い助け合い、地区避難場所に行けるようにと思う。(女性 60代)
- 同報無線は、家の近くにあるため、よく聞こえるのでよい。食器棚は固定してあるが、たんすは固定していないので、夜中に地震が起きたらと思うとちょっと怖い。早目に固定しようと思う。(女性 60代)

## V 自由意見

- 被害を減らすには建物の耐震診断、補強工事が大事だと思う。わかっているが、まだ補強工事が遠のいている。  
(女性 60代)
- 地域の防災訓練がマンネリ化している。防災に対する意識を喚起してくれるのはよいが、いつも同じだと、訓練に参加しなくてもよいという気になるときもある。  
(女性 60代)
- 仕事が休みのとき以外は、日中家にいることが少ないので、家から火を出すことはないと思うが、近所からのもらい火については、どうにもならないと思う。火災にならない限り、防災用品は、まとめて持ち出しができる所に置いてあるので、何とかなると思っている。隣近所の人たちと、いざというときの避難場所など話し合っているの、ある程度は安心と思っている。  
(女性 70歳以上)
- リュックサック1つ持って逃げられるように、季節ごとに入れかえをして用意してある。  
(女性 70歳以上)
- 地震が起きたら困る。1週間分の食糧を買ったりしても、期限切れになり、無駄にしてしまう。飲料水は期限が長いので（飲める）たくさん買ってあるが、食品の場合確保できない。一部のみ家具は転倒防止しているが全部はできない。同報無線で早目に知らせしてほしい。同報無線は必ず聞くようにしている。  
(女性 70歳以上)
- 非常食の準備が1週間分くらい必要と言われているが、家庭だと置く場所などで限界があると思う。地区の避難場所である公会堂が狭いので心配である。  
(女性 70歳以上)
- たんすなどは固定している。またリュックには細々とした物（フォーク、スプーン、ばんそうこう、食品包装用ラップ、アルミホイル、1年に2回夏冬の衣類入れかえその他）や薬などは1年に1度だけ入れかえしているの、病院に行かなくても1か月は大丈夫である。  
(女性 70歳以上)
- 水と非常食を備蓄するつもりだ。  
(女性 70歳以上)
- 地震対策は、すぐ外に出ること（鉄筋コンクリート1階なので）。同報無線はすぐラジオをつけて聞いている。  
(女性 70歳以上)

## 地震対策／意識について(53件)

---

- いつ起こってもおかしくない中でもっと危機感を持たないといけない。  
(男性 20代)
- 地震対策を大してしていないと思うが、実際に起きたら、なんとなってしまう気がする。甘い考えが抜けない。  
(男性 20代)
- 自分では全く地震対策をしていないことがわかった。  
(男性 30代)
- 実際被災しなければわからないと思っている。  
(男性 30代)
- 非常時の備えはすぐにおきたいと改めて思った。  
(男性 30代)
- 震災があった直後は気が張るが、時間がたつにつれ、おざなりになる。定期的に災害の恐ろしさを思い出させるような働きがあるとうれしい。  
(男性 30代)
- 地震対策については、今後少しずつ対策していきたいと思っている。同報無線は緊急時、臨時放送は必要だと思う。  
(男性 30代)
- 地震に限らず、自然災害時、日ごろから地域のつながりが大切だと感じる。  
(男性 30代)

- 我が家では、ほとんど地震対策と呼べるものはしていない。自分自身も日曜もほとんど仕事で防災訓練に参加できなかった。今後は、地域の防災活動へ積極的に参加し、意識を持ち行動したいと思う。  
(男性 40代)
- 海も近く、すぐに富士山がそびえ、どこへ逃げてもだめだと思っている。とにかく落ちついて行動できるよう、もう年で足腰が弱ってきているので…。行方不明の同報無線が流れると、心配する間がないほどの発見の早さに驚いてしまう。これからも続けてほしい。  
(男性 40代)
- 地震対策について、最近の学校教育の現場において生徒が地域のことを知り考える、という取り組みがあると知った。よいことだと思う。しかし中年から高齢者の意識には「地震が起きたら仕方ない」という人もいる。そうした雰囲気が地域の防災活動のアップデートの障害になっている面が否めない。最近の学校で、どのように地震対策に取り組んでいるかを知らせたりして、新しい防災対策が始まっていることを市民として知っていきたいと思う。  
(男性 40代)
- いつ大きな地震が起こるのかわからないので、これを機会にまた地震についての話し合いを持ちたい。  
(男性 40代)
- 相手が自然なだけにどうしようもないと考えてしまうことが多い。  
(男性 40代)
- ニュースなどで出る地震速報を見て、子どもたちにも地震がいつ起きるのかわからないと言っている。同報無線は聞こえにくいときがある。  
(男性 40代)
- 津波の緊急性をもっと高齢者に伝えてほしい。逃げる気がない人や本当に来ると思っていない人々が今でも多く、家族や周りの人が避難するのに大変だと今から思っている。  
(男性 50代)
- 地震対策をついつい後回しにしてしまうので、そろそろ本気で準備したい。同報無線からは地域のつながりを感じる。  
(男性 50代)
- 防災用品などを販売している立場にあるが、市民の意識の低さに驚く。  
(男性 50代)
- 地震は私が子どものころから騒がれていて、訓練も多々行ったが、30~40年もち気持ちも昔と比べて緩んできている。もうこの年だからこのまま家で死ねれば…などと両親は言う。起こらないのにこしたことはないが、介護などの必要な高齢者は本当に困ってしまう。同報無線は反響してしまい聞き取りにくい。  
(男性 50代)
- 自身の安全を確保することにまだまだ不十分だと考える。  
(男性 60代)
- 地震対策については、総合防災訓練、地域防災訓練に家族で積極的に参加し、意識を高めている。また、家族の決め事も話し合い再認識を図っている。同報無線はどのような放送か必ず注意して聞いている。  
(男性 60代)
- 家が古く、建てかえを検討している。「もし今地震が来たら」ということを家族でよく話し合っている。  
(男性 60代)
- 天地異変が生じてもアパート住まい及びひとり身なので、次の住みかを考えるだけである。  
(男性 60代)
- 不用品の処分などは日ごろから行って身軽にならなければと考えている。子どもでも同居することになれば、耐震対策なども実施しなくてはと思うが、現在は2人生活（年金生活）なので、実施に決心がつかず迷っている。  
(男性 60代)
- 多少の備蓄はしているが、この程度でよいのかと自問する。真剣味が不足していると感じている。  
(男性 60代)
- あまり緊迫感を持っていないので、反省しなければと思う。  
(男性 60代)

## V 自由意見

- 地震に対しての「マンネリ化」、いつ発生してもおかしくないことはわかっているけども非常食、水などの入れかえ、補給を怠ってしまう。私だけだろうか。同報無線放送で、地震に対しての喚起を目的に時々非常食などの補給確認の放送を流したらよいのではないか。 (男性 70 歳以上)
- 自宅が古いので耐震を主に対策を済ませたが、地盤の弱い土地のため不安がある。同報無線は総花的なものになると思われるので、危険地域に居住している人にはどう対処するのか。いずれにしても大地震に対しては、「公助」は当てにできない旨を知らしめるべきで、共助、自助の重要性を認識させるべきでは…。 (男性 70 歳以上)
- 地震はいつ、どこで発生するかわからないから自宅にいるときも、旅しているとき（乗車中含む）も、「もしここで発生したら」と思っている。地震だけは時、場所を選ばないから、「今来たら…」と常に考えているしかない。ただし、家での地震対策はやらなくてはと思っている。 (男性 70 歳以上)
- 静岡県に住んでいる以上、いつ大きな地震が起きても不思議ではないので、これからはもっと地震対策をしようと思った。また、子どもが生まれたばかりで、子どものおむつやミルクも災害時に必要になるので準備しようと思う。 (女性 20 代)
- まだ引っ越してきたばかりなので、災害対策について（避難経路、準備）一度じっくり考えてみるべきだと感じている。 (女性 20 代)
- 地震が起きてしまったら、自分の子どもを守ることで精いっぱい、それ以外はまだ考えられない。 (女性 20 代)
- いつ起きてもおかしくないとは思っているが、何にどのように備えたらよいかわからない。余り対策できていない状況。 (女性 20 代)
- 想定外のことが起きると思うし、すごく怖いと思っているが、なかなか実感がない。 (女性 20 代)
- 地震対策をおろそかにしているのを感じた。日々、用意しなくてとは考えているものの全くしていない。同報無線は必要と感じるが聞こえにくい。窓を開けても聞こえないこともある。 (女性 20 代)
- 災害伝言ダイヤルの使い方など、いざというときにできるように試しておきたいという気持ちがあるが、現在までまだ試したこともないので、反省している。 (女性 20 代)
- ブロック塀、石垣が交通を妨げることが怖いと思う。アパートなど、地域の人がわからないことも心配である。家族で意識を高めるようにしたい。アパートの人なども町内会に参加するとよいと思う。見えないことは、よくないと思うから。同報無線は、聞こえると安心する。情報社会なのに、大切なことはなかなか伝わらない。市役所、まちづくりセンターなど、もっと近くに感じられたらと思う。 (女性 30 代)
- 地震発生時、家族がどこにいて何をしているかによって、集合する場所が違ってくるので、もう一度みんなで話し合っておいたほうがよいと思った。地震対策として食料や飲料水が明らかに不足していると思うので、我が家の備蓄分を購入しておかなければいけないなと思った。考えるよい機会をいただいた。 (女性 40 代)
- 2011 年はすぐに備蓄品を購入したが、だんだん売っている場所も減ってきている印象である。食品などは消費期限もあり、定期的に見直す必要性を時々感じるが、普段はなかなか思い出せない。最近の火山活動や地震で、少し注意が向いてきた。単身赴任なので夫（富士市の自宅に居住）と連絡を取り合うように心がけようと思う。 (女性 40 代)



- 大地震がいつかは起こると思って、時がたつと意識が薄れてしまうので気をつけなければと思う。地域の活動も理解していない面も多々あると思った。富士山の噴火も気になる。  
(女性 40代)
- 余り対策していないのでやりたいと思う。  
(女性 40代)
- 地震がいつ起きてもおかしくはないと思う。よくわからない。  
(女性 40代)
- 日々忙しいという理由から、対策せずにいることを反省する。「いざ」というときに、何ができるのか、家族はどうなるのかと心配することばかりだ。いつ地震が起きるのかわからないので、留守にするときは必ずガスの元栓を閉めている。お風呂のお湯も次の朝までためておく。(そのほか、タンクあり)  
(女性 50代)
- 娘は成人し、気がかりだった両親(80代)が亡くなってしまったので、少し災害に対して気が緩んでいるが、共働きの夫婦の留守のとき、家にいる娘には近所との連携をとることを話している。しかし今回のアンケートで再度防災対策を考え直したいと思う。  
(女性 50代)
- 津波の情報に慌てない。まず命を守る。避難する。  
(女性 50代)
- 目の前に学校があるので、地震のときは、小学校に避難することを日ごろから家族と話している。仙台で3.11の地震を経験しているので、地震対策はなおさら敏感になっている。同報無線についても今までどおりの放送でよいと思う。特に、行方不明の放送を聞いて、見つかるほっとする。  
(女性 60代)
- 地震が起きても高齢者になると足腰が悪く、遠くの避難所に行くことができなくなる。私の家の近くには畑があるのでそこに行って、それからのことを話し合おうと近所の人たちと話し合っている。  
(女性 60代)
- 我が家には93歳の高齢者がいて、隣には、2人暮らしたが日中息子が仕事で不在となる高齢の母親、反対の隣には、足の悪い高齢者がひとり暮らし。3軒グループで互に見守り、声をかけ合って避難するときには連れ立って行こうと常々心がけている。しかし、我が家しか逃げられないときには他を見ずにその場の状況で行動するよう話し合ってもいる。耳が遠い高齢者ばかりなので、無線が聞こえる人の行動も大事。  
(女性 60代)
- 地震については、私たちの世帯は今後住む人がいなくなるので、「このままでよい」と思っている。  
(女性 60代)
- 私の家は昔の家で、庭も大変広く家も大きいので(平屋)、地震には強いと思っている。  
(女性 70歳以上)
- 大地震を経験していないので、もし起きたら自分は動けないと思う。テレビで見ていると怖いと思いつつ、その怖さが今は体に伝わってこない。お隣さんとは行動は常に一緒にと言っている。無線は素早く放送してくれれば安心できる。  
(女性 70歳以上)
- 家族がそろったときなどで、ニュースでほかの災害などが放送されたりすると、ついでのように話になる。主に避難経路、場所について話している。  
(女性 70歳以上)
- 東北の震災をまたしっかり思い出して準備をしたいと思う。  
(女性 70歳以上)
- 77歳という年もあり、体調も余りよくないので、地震や災害について、いろいろなことを余り考えたくない。  
(性別不明 70歳以上)

## 地震対策／不安に思うこと(35件)

- 家庭での備えは多少あるが、実際に地震が起きたときに十分かどうか不安。家を離れて仕事をしている時間も長いので、地震発生後、帰宅できるか心配。(男性 30代)
- 地震後の生活はどうなるのかなど。(男性 30代)
- 教員のため大地震の際には勤務先の学校に行かなければならない。仕事なので仕方ないが、妻と2人暮らしのため、妻の行動、安全が心配(妻の実家も離れているため)。また、同じ理由で地域のほうにも参加できない。(男性 30代)
- 障害者認定を受けているが、地震発生後の対応など、情報が入ってこない。どのようになっているのか。(男性 50代)
- 東海地震と騒がれてもう何年が経過したのか。阪神淡路、東日本大震災と比較的注目されていなかった地域が震災に遭っている。近い将来必ず大地震が起こるのかと思うと不安である。(男性 50代)
- 我が家の前は市道を挟んで大きな木があり、地震が起きて倒木したらと思うと気になっている。地主も考えてほしいと思う。(男性 50代)
- 我が家なりの対策をしているつもりだが、認知症の親や足腰に持病のある家人もあるため、そのときになるようにしかならないと考えている。(男性 60代)
- 電池、懐中電灯などを部屋ごとに置いてある。地震が起きた後の被害などをテレビで見ると、準備しておいても、しないよりましというだけで、潰れた家に埋もれて役立つのか疑問に思うときがある。(男性 60代)
- 私は国道1号バイパス南側に住んでいるが、地震による津波や大雨による洪水のとき、避難所は柏原2丁目公会堂か柏原保育園西の避難タワーと聞いている。私たちの周りには、避難所がない(かぐや富士は柏原1丁目の避難所と聞いている)。津波、大雨による洪水のとき、避難勧告が出たら、高齢者はどこへ避難すればよいのか。海のほうへは行きたくない。国道1号バイパス北側へどこか避難所を考えてもらいたい。(男性 70歳以上)
- 津波の情報。道路の破損状況。(男性 70歳以上)
- 逃げる場所がない。高い建物がない。(女性 20代)
- 自分の家が実際どのくらい津波に巻き込まれるのかわからないので不安。(女性 20代)
- 家の地震対策も大切だと思うが、実際、仕事をしていて外にいる時間のほうが多く、そのときに家族ばらばらのとき、どうなるのだろう。どこを探せば家族に会えるのだろうと思う。(女性 30代)
- 地震対策、家の中は倒れるものが少ないが、隣の空き家(所有者不明)の倒壊が気になる。またそれに伴う被害。(女性 30代)
- 賃貸住宅だと、近隣とのつき合いが薄く、自分が仕事で不在が多いので、1人残している母のことが心配になる。障害があるので、市で障害者の避難状況を確認できるシステムがあるとよいと思う。(女性 30代)
- 津波の心配。大地震の場合だと逃げるのが遅くなるので、冷静に行動ができるかどうか不安。日常からどこへ避難するべきか考えるなどの準備が必要。(女性 40代)

- 食料品の備蓄はすぐに賞味期限が来てしまうので、どうしても少な目にしてしまうこと。  
(女性 40代)
- ペットも家族の一員であるが、被災時に自宅にいるとは限らない。また、自宅にいても設備や動物嫌いの人のことを思うと、避難所には連れて行けない。地域の高齢者、子どもの避難誘導の次くらいにペットについても考えていただければと思う。  
(女性 40代)
- 大地震が起きたとき、すぐ情報が得られるのか本当に不安だ。また、地震対策をしてあっても、本当に役に立つのか全くわからない。いろいろ考えると不安でたまらない。特に富士山の噴火に関して不安を感じる。  
(女性 50代)
- 阪神淡路、東日本大震災と、2つの大地震がこの東海地方よりも先に起こってしまった。教訓を生かしていないのが現実ではないか。ここではいったい何をどうしたらよいのか、具体的に知りたい。たとえば、集合場所の選び方とか…。富士市には静岡や東京に働きに行っている家族がいる人もいる。どうしたらよいのか実際わからない。また、何かあったら静岡方面、東京方面の道路は遮断されるのではないかと心配だ。富士市は道が狭くとても不安だ。その割には車に依存。不安だ。  
(女性 50代)
- 以前の震度5弱の地震の際、近所で家の外に出ている人は我が家以外誰もいなかった。こういうとき、ご近所で声をかけ合う(被害の確認)のは絶対必要と思うのだが薄情だと思った。しばらくして外で会った人にいろいろな情報を教えてもらった。比較の日ごろからのおつき合いはできている地域なのにととてもがっかり。いざというときどこにも頼れない。若い人が率先して動いてほしい。  
(女性 50代)
- 平地なので、津波から逃げられる高台やビルが近くにない。防災ラジオに時報の音まで入るが、放送音が途切れるので迷惑に感じる。  
(女性 50代)
- 避難場所が自宅より海側に近いので、津波が起きた場合、そちらへ避難したほうがよいかどうか迷っている。  
(女性 50代)
- ひとり暮らしであるので何かと不安でならない。マンションの上層階のため、電気が使えなくなるとエレベーターが使用できなくなり、とても外階段での移動はできないと思うと不安がある。  
(女性 60代)
- 家は平成25年に古い家を壊し新築した。耐震もしっかりできており、家具も備えつけて安心である。心配なことは、家族がばらばらになっている昼間の地震だ。どの程度情報が入るかは不安である。家族でもっと話し合わなければいけないと感じる。  
(女性 60代)
- 地震ではないが、一番の関心事は富士山についてである。現在多くの山での噴火に関するニュースをよく耳にするようになった。地震ですぐ移動、避難ということはないが、もし富士山があと数日のうちに噴火の可能性があるといったような場合、その個々の家の丈夫さなどには関係なく、地域全体での避難が必要になるかと思われる。噴火の場所によるのはもちろんだが、いざというとき、集団でどこかに大移動など、受け入れてもらえる場所の候補、また、相手方の了承を得るなどされているか、とても心配だ。  
(女性 60代)
- 災害時の備蓄を余りしていないので不安。昼夜ともにサッシを閉めてあるときは同報無線が聞こえないので、大事な放送があると心配。  
(女性 60代)
- 認知症の高齢の母がいるため、地震のことを考えると心配だ。  
(女性 60代)
- 夜間以外はほとんど高齢者一人のみの生活でとても不安だ。常時訪問してくれる人がいてくれると安心だ。  
(女性 70歳以上)

## V 自由意見

- 高齢者のひとり暮らしで足が悪くバス停も遠いので不安である。以前にも市役所に電話をかけたことがある。 (女性 70 歳以上)
- 私の家では、83 歳と 80 歳の 2 人で住んでいる。主人が認知症でデイサービスに週 4 日行っているが、地震が来たとき主人をどうやって連れ出したらよいか不安だ。 (女性 70 歳以上)
- 現在、不自由なく生活しているが、緊急時に果たして行動できるか不安だ。子ども（息子たち）は、それぞれ別だが、連絡が十分とれるか、日ごろから心配している。 (女性 70 歳以上)
- 耐震工事はしてあるが、そのときの地震の大きさによって避難所まで行けるかと話している。どこで遭遇するかの問題もある。年齢が 80 歳になるので足腰を丈夫にしておきたいと思う。同報無線は聞こえにくい場所なので注意して聞いている。 (女性 70 歳以上)
- 自分の住む町内会での勧めで防災ラジオを買った。しかし、家の中のどこに置いて、アンテナを高く立てても聞こえない。市の同報無線放送も非常に聞こえが悪い。夫は要介護者だが、避難のとき、私がいても避難が困難である。災害・緊急支援情報キットを登録しているが、班長が来てくれるのか、班長も勤めている場合どうしたらよいか。 (女性 70 歳以上)
- 非常用備蓄品を 5 人家族で 1 週間分用意するのは、収納場所や賞味期限が切れたときの始末などが心配になる。 (性別不明 70 歳以上)

### 地震対策／市役所への意見(16 件)

---

---

- 防災グッズのセットを市で販売してほしい。食料や水などセットになったもの、これを持っていれば数日は大丈夫だというセットもの。必要な物がたくさんあって切りがない。賞味期限もあるので、たくさんは買い置きしたくない。 (男性 30 代)
- 同報無線は聞き取れないことが多い。同内容の携帯電話へのメールは重宝している。緊急避難場所などの情報は知らない人も多い。回覧板や全戸対象の配布物などを通して個別に周知徹底するとよいのではないか。津波の避難場所は、その地域に用事で出かけている人もいるので、一般市民もすぐわかるように大型ショッピングセンター、公共施設などにはわかりやすく掲示を。 (男性 50 代)
- 災害発生時、市（国・県）がどの程度対応できるのか、市民に知らせてほしい。備蓄食料などの用意の目安にもなる。 (男性 60 代)
- 吉原地区在住だが、同報無線が何を言っているかわからない。富士市の地震、津波の被害予想を映像で表現してもらいたい。図や数字だけではピンとこない。 (男性 60 代)
- 道路に海拔○メートルと表示されていたが、大事な○メートルの数字が消えている。意味がない。宮島周辺。 (男性 60 代)
- 災害時に必要なものを市から広告し、定期的に注文できるシステムをつくり、準備できるようにしてほしい。各自で買いに行くのでは人によって差が出やすい。 (男性 60 代)
- 非常防災用具、非常食、飲料などパックにして各家庭で購入。その提供を市、自治会が行う。緊急時同報無線は必要である。防災ラジオは富士市から購入した。 (男性 60 代)
- 地震対策については、我が家は港に近いので、津波対策に早急に取り組んでほしい。同報無線は実際に役立つのか不安。 (男性 70 歳以上)

- 家族の共通認識としての確認のため、地震時の行動の確認項目の一覧表を書いて貼っておく。平常時に思っていることが地震発生時には判断できなくなると思うから、市でA4サイズぐらいの必要項目を書いた紙を配布してもらえるとありがたい。(男性 70 歳以上)
- 工作上、常に海辺を車で走っているから、津波が心配である。高速道路など避難場所をもっと設置してほしい。(女性 30 代)
- 同報無線が聞こえないことが多い。放送中はテレビの音を消したり外へ出たりしてみるが、内容が聞き取れないことがある。潤井川に土や石がたまり、川の面積が狭くなっている場所がある。台風や大雨、津波の発生時にあふれる危険があることを地域住民の皆さんが心配している。早急に対策をお願いしたい。(女性 40 代)
- 非常用備蓄品は、買い換えが必要で、家族分となると費用がかかる。年に一度、市の広報などで激安価格で注文を募って、例えば5年の消費期限のものが残り2年で安くなったものなどをまとめて市で買い上げ、市民に販売してはどうだろうか。(女性 40 代)
- 場所的に津波の心配があるので、高齢者のためにも家の近所に高所避難場所を建ててほしい。(女性 50 代)
- 我が家は福泉川沿いにあるが、川の整備がされていないため(南、川坂の一部)大雨が降ると増水し、大きな岩がゴロゴロ流れ恐怖を感じる。擁壁工事もされていないため、地震で崩れてしまわないか心配だ。市内中央部は川・橋・道などすごく整備されていると思う。安心して生活できるように整備してほしい。(女性 50 代)
- 広報、一般媒体などで単発、分散的に地震対策についてのためになる情報は目にするが、紙面の一角などと、保管向きでないことが多いと感じる。前ページまでのアンケートで確認されたことを含め、一冊手元に保管しておくような情報冊子を定期的に作成、配布していただくと助かる。万が一の災害発生時の混乱を極力抑えるためにも、必要ではないかと思う。(女性 50 代)
- 家の中でばかり地震、津波に遭うかわからない。歩いているとき、子どもを連れていたりときなど高いビルに逃げられるように目印をつけてほしい。非常階段など鍵がかかったりしていると登れない。許可をもらっているビルに目印をつけてもらえると安心だ。また、電信柱が倒れてくると危険である。地下に埋めることができたらいと思う。富士山の景色にもマイナスになっているように思う。(女性 70 歳以上)

## 地震対策／補助の要望(2 件)

---

- 非常用備蓄品は各家庭で1週間分確保しておく必要は十分わかっているが、備えるとなると結構な金額がかかる(我が家ではそのお金を捻出するのは厳しい)。できれば市のほうで格安に仕入れて例えば9月の防災の月1か月間に各家庭で見直してもらい、販売するとか(大家族〔子ども3人以上〕の場合は少し安くするなど)すると、もう少し備蓄品を確保する家庭がふえるのではないかと考える。(男性 40 代)
- 耐震補強工事の補助はあるが、工事の補助金が狭小住宅に建てかえるときにも利用できる融通性があるとよいと考える。(高齢になると広い家は必要でなくなるので)(男性 60 代)

## 地震対策／その他(7件)

---

- 持ち家の人は自分が納得する地震対策ができるが、アパートなどの人は建物に傷をつけるわけにはいかず、制限されてしまう部分もあると思う。そんな状況下でも“このような地震対策用品がある”というような情報があると安全を買う意味でもありがたいと思う。(男性 40代)
- 自然災害は何が起こるか予測不能なのでテレビ、ラジオであまり騒ぎを大きくしないしてほしい。確実な情報だけを知りたい。テレビ、ラジオ、全部同じ放送は要らない。(男性 40代)
- 地震予知をできるだけ早く知らせてほしい。(男性 60代)
- 地震対策ではないが、富士山噴火に対する情報も詳しく知りたい。灰やマグマの流出、規模、富士市への影響など…。(男性 70歳以上)
- 特になし。来たら来たとき。(男性 70歳以上)
- 東日本大震災の日(3.11)会社から帰宅する際、信号が動いていなくて事故に遭いそうで危なかった。緊急時交差点に人を配備してくれたらありがたい。(女性 20代)
- 他県から引っ越してきたが、地区での活動がよくわからない。住んでいる場所がよくわからない者にとって地震や災害の避難場所と言われてもわかりづらい。もっとわかりやすくしてほしい。同報無線、富士市メールサービスでの不審者出没情報がほぼ毎日のように配信されているが、どんな対策をしているのか知りたい。出没情報も必要だが、対策や結果がわからなければ、不安に思うだけなのではないか。(女性 50代)

## 同報無線／聞き取りにくい(206件)

---

- 場所によって同報無線が聞こえづらいことがある。(男性 20代)
- 同報無線放送は音声聞き取りづらく内容がわからない。(男性 20代)
- 誰が言っているのか、途中、間をあけるのはなぜなのか。(男性 20代)
- 無線が時々何を言っているかわからないことがある。(男性 20代)
- 行方不明の放送がたびたびあり、窓を開けて聞くのだが、聞こえにくいことがあるのでほかに伝える方法を考えてほしい。(男性 20代)
- もう少し大きい音にしてもよいかと思う。(男性 20代)
- 聞き取りにくいときがある。(男性 30代)
- 声がとても聞こえやすい。(男性 30代)
- 1回のみ無線放送なので聞き逃すことが多い。2回にしたらさらによくなると思う。(男性 30代)
- 同報無線が聞こえない。地域(組、班)で問題にしたが、防災ラジオで対応となっていて、任意対応のため、購入していない。国道沿いは、車の音で聞こえない。道路の静音対策をすればよくなりそう。治水が必要な河川が多々ある。あふれる。地震時にはどうなるか心配。(男性 30代)
- しっかり聞こえない。(男性 30代)

- スピーカーから遠いと聞き取りにくい。 (男性 30代)
- 同報無線が聞き取りにくい。 (男性 30代)
- 屋内にすることが多いが、聞き取りづらい。 (男性 30代)
- 水分の確保は常にしている。無線はよいことだと思うが、音が重なって聞き取りにくいときがある。 (男性 30代)
- 聞き取りづらいことが多く、1回では伝わらない。 (男性 30代)
- 地震対策で家具の固定、食料、水の確保をしっかりとやろうと思った。同報無線は聞き取れないので、メールで受け取っているが、メールサービスを知らない人がたくさんいるのではと思う。 (男性 40代)
- 同報無線は、昔に比べると聞き取りやすくなっているが、まだはっきりと聞き取れないことがある。 (男性 40代)
- 大雨のときなどは無線が聞こえない場合があるので、各所の音量の試験を行ったほうがよいと思う。防災ラジオのアンテナの感度があまりよくない。 (男性 40代)
- 風向きや雨などの影響で無線が聞きにくいときがある。昼間はバイパスの自動車の音などで聞こえづらい。 (男性 40代)
- 聞き取りづらい地域がある。 (男性 40代)
- 同報無線は音が共鳴し、聞こえづらいときがある。広報ふじで地震対策に必要な代表的な物を教えてほしい。 (男性 40代)
- 同報無線がよく聞こえない (大淵穴原)。 (男性 40代)
- 同報無線については聞き取りにくい。 (男性 40代)
- 聞こえるときと聞こえないときがある。聞こえても何を言っているのかわからない。 (男性 40代)
- 我が家では、夜でも耳を澄まさないと同報無線が何を言っているのかよくわからない。大体火災か行方不明だろうと気にしていなかったが、肝心なときに情報が入ってこないことが心配だ。地区は宮下2だが、どこが最寄りのスピーカーなのか？ (男性 40代)
- 同報無線のアナウンスが聞き取りづらいことが多いので、もっとクリアな音声にしてほしい。 (男性 40代)
- 田子浦地区には、津波避難場所が少な過ぎるのではないか。同報無線が流れると近所の犬がほえ出し、聞き取りにくい。(犬がうるさい。) (男性 40代)
- 同報無線が聞き取りにくいときが多々あり改善してほしい。 (男性 40代)
- 正直言って聞き取りにくい。できれば防災ラジオを各家庭に配布してほしい。 (男性 40代)
- 同報無線が聞き取りにくい。 (男性 40代)
- 聞き取りにくく、必要な情報が入ってこなかったり、重なって聞こえたりするため、同報無線に流される情報と同一のものをメールなどの画面でも確認できるようになるとチェックしやすいと思う。聞き取れなかったときに、インターネットなどでどこかをチェックすれば確認できると安心。 (男性 40代)

## V 自由意見

- 同報無線放送が聞きづらい。 (男性 40代)
- 同報無線の電波が悪く途切れて聞こえづらい。 (男性 40代)
- 同報無線が聞き取りにくく、内容が理解できない。 (男性 40代)
- 同報無線は聞き取りが困難である。特に文章が長いとわかりにくいので、短文でわかりやすいフレーズを希望する。津波と富士山の噴火は気がかりで、家族でどのようにして逃げるか話し合っている。 (男性 40代)
- 同報無線放送の内容が聞こえづらいときがある。 (男性 50代)
- 夜は緊急放送でもうるさいと思う。火災の放送など大きいけれど地区名がよく聞こえないときがある。(風向き、エコー、交通騒音などで) 家庭内専用受信器が必要。 (男性 50代)
- 我が家では同報無線が遠いのか、家の中にいるとほとんど聞こえない。先日も家のすぐそばで火災があって同報無線がかかったが、全然聞こえないため、知らずにテレビを見ていたら、知人から大丈夫かと電話がかかってきて初めて窓をあけ、火災がすぐ近くで発生していたことに気づいた。幸い、少し離れていたもので避難することもなく済んだが、無線がどの家からも聞こえるようにしてほしいと思った。 (男性 50代)
- なかなか聞き取りづらい。 (男性 50代)
- 同報無線の声話す人によっては、はっきり聞こえる声と聞き取りにくい声がある。場所によっては、スピーカーの位置で、追いかけて聞こえてくるので、聞き取りにくい場所がある。 (男性 50代)
- 休みの日、昼間気持ちよく昼寝をしていると、同報無線で起こされる。広報なので仕方ないと気持ちをおさえるが、内容は行方不明、振り込め詐欺など。肝心な大雨情報などは、大雨の音で聞き取れず、窓をあけ、ぬれながら聞いたこともある。正直、釈然としない。 (男性 50代)
- 同報無線がほかと重なって聞きにくいことがある。 (男性 50代)
- 火災の放送で、発生場所が非常に聞き取りにくい。「ただいま、火災が、吉原〇丁目、〇〇〇西側で発生しました。」〇の町名、何丁目か聞こえない。〇〇〇の会社名、工場名が聞こえない。消防団の出場分団名は、はっきり聞こえるのに、肝心な発生場所が非常に聞き取りにくい。防災ラジオは、AM、FM放送の入りがよくない(きれいに受信できない)。 (男性 50代)
- 同報無線が聞こえづらい。 (男性 50代)
- 同報無線が聞き取れない。同報無線ラジオも購入したがそれも入りにくい。(中島新道町3班) (男性 50代)
- 20時から6時まで音がうるさい。 (男性 50代)
- 同報無線はうるさい。 (男性 50代)
- 聞こえない場所がある。 (男性 50代)
- スピーカーの音が割れて聞き取りづらいことがある。性能上の問題なら改善してほしい。 (男性 50代)
- 天候や風向きによって入りの悪い場合がある。 (男性 50代)
- 同報無線が聞き取りづらいときが多い。 (男性 50代)



- 町内ごとの集合場所を放送してほしい。(男性 60代)
- 同報無線が聞こえない。(男性 60代)
- 同報無線の読みリズムが悪い。速過ぎてはだめだが少し遅過ぎる。(男性 60代)
- 同報無線は音声のエコーして何を言っているのか聞き取れないときがある。(男性 60代)
- 同報無線がよく聞こえない。(男性 60代)
- 同報無線が聞きづらい。(男性 60代)
- 同報無線は聞きにくいので、富士市防災ラジオを使用している。(男性 60代)
- 現在居住している所では全く内容が聞こえないので、情報はないに等しい。(男性 60代)
- 同報無線が聞き取りづらい。(男性 60代)
- 自宅では、ほとんど同報無線は当てにできない。聞こえない。聞こえても、反響して内容がわからない。同報無線ラジオも使えない。(入らない)(男性 60代)
- 放送内容が聞き取りにくいので改善してほしい。(男性 60代)
- 同報無線は気候や方向によって聞き取りにくいときがある。富士山噴火があった場合、どのような状況が発生しているのか情報が欲しい。インフラの回復に何日ぐらいかかるか、地域別のきめ細かな情報が必要。また交通情報についてはどの程度の情報が出されるのか不明。(男性 60代)
- 同報無線がどういう物かわからない。(男性 60代)
- 火災時の地名が聞き取れないことがある。(男性 60代)
- 音量を小さくして多くの場所から発信(放送)すると内容が今より正確に伝わると思われる。風の向きも影響するので難しいところだがセンサー設置などで対応できるかも。(男性 60代)
- もっと正しい言葉(日本語)で伝えてほしい。(男性 60代)
- 宮下地区で聞きづらい。(男性 60代)
- 自宅では同報無線が聞き取りやすいが、私の勤務している南町付近は、音の割れにより聞き取りづらい。(男性 60代)
- 風向きにより聞こえない(80%~90%)。市より防災ラジオ(2台)を買ったがすぐ壊れた。同報無線は言葉が不明瞭で、重なって聞こえる。(男性 60代)
- 冬は窓を閉めていると、放送の内容が聞き取りにくい。(男性 60代)
- 同報無線放送が聞き取りにくくて、よくわからない。また市の防災ラジオも購入したが、近隣の人々も電波のせいとか全く機能しない。そのため、地震は体や建具の揺れで感じている。あとはテレビのニュースで対処している。(男性 60代)
- 聞きにくいときがある。(男性 60代)
- 全世帯に聞こえているか。自宅では聞こえるが、聞こえない所、聞きにくい所はどうなっているか。(男性 60代)
- 同報無線がよく聞き取れない(風向きによることが多い)。(男性 70歳以上)

## V 自由意見

- 余りにも地震が多く神経質になっているので、無線での放送は絶対必要だが、風向きで聞こえない日もあり、全世帯に聞こえる工夫が必要。(男性 70 歳以上)
- 最近の家は気密性が高く、テレビなどを見ていると同報無線は聞こえない。(男性 70 歳以上)
- 同報無線の感度が悪い。(男性 70 歳以上)
- 余りよく聞こえない。(男性 70 歳以上)
- しゃべり方がゆっくり過ぎる。普通の速さで、繰り返し話されるほうが聞き取りやすい。「こちらは広報ふじです」という言い方より、「こちらは富士市の広報部(課)です」と言われるほうが自然に聞こえると思う。(男性 70 歳以上)
- 無線放送が聞き取りにくいときが多い。女性の声のほうが聞き取りやすい。(男性 70 歳以上)
- 同報無線が何を言っているのかわからない。(男性 70 歳以上)
- 同報無線が聞こえにくい。(時間によって家の中で聞こえない。)(男性 70 歳以上)
- 夜、戸を閉めると何か放送していることはわかるが、何を言っているのかわからない。昼間でも言葉がはっきりしなくて内容がわからないときがある。(男性 70 歳以上)
- 言葉をゆっくりと。「こちらは広報ふじです」は、要らない。(男性 70 歳以上)
- 音が小さく聞こえづらい。(男性 70 歳以上)
- 同報無線については、風向きや強雨の場合聞こえないときが多いため、携帯電話での受信設定をして情報を得ている。また、地震発生時の情報取得のために昭和 48 年にアマチュア無線免許の取得や富士市防災無線協力会への入会活動もしたが、高齢となり脱退、その間各種防災講座などの受講など日ごろより心がけている。常に危険意識を持つことが必要であるとともに、日ごろの情報取得のためにも同報無線は重要なことと感じている。(男性 70 歳以上)
- 放送の言葉がワーワーと響くだけで何を言っているかわからない。(男性 70 歳以上)
- 地震情報を早く知らせてほしい。台風情報を早く知りたい。(男性 70 歳以上)
- 市役所の放送がよく聞き取れない。(男性 70 歳以上)
- 時々、声が聞こえない。何を言っているのかわからない。(女性 20 代)
- 外国語での情報提供をもっとすべきだと思う。広報 1 つとっても、音が大きいだけで何を言っているのかわからない。(女性 20 代)
- 同報無線が聞き取りにくいときがある。非常時はしっかり聞こえるようにしてほしい。(女性 20 代)
- 同報無線がたまに聞き取りにくいときがある。(女性 20 代)
- 同報無線で繰り返すとき、前の発言とかぶってしまっていて聞き取りづらいときがあった。緊急時の放送はしっかり聞き取りたいと思うので、かぶらないよう放送されるとよいと感じた。(女性 20 代)
- 同報無線、音声小さく余り聞こえない。(女性 20 代)
- 同報無線がほぼ聞こえない。(女性 30 代)

- 同報無線が反響してしまい内容がわからない。携帯のメールで確認しているが緊急時にメールだと情報が得られないのではないかと不安もある。  
(女性 30代)
- 家にいると同報無線が聞き取りづらいときがある。緊急時以外ではわざわざ窓を開けて聞こうとは思わないので、大半の同報無線を聞き流している状態となっている。職場が沼津なので災害が起きたときに沼津でどういった行動をとるべきなのかがわかっていない。市をまたいだ情報発信や活動があったら便利だと思う。  
(女性 20代)
- 地震対策は、なんとなくやったほうがよいことは教わっているし、何度か少し大きな地震を経験したから頭ではわかる。家族の集合場所を決めているけど、実際にそのように動けるかわからない。今は何でも調べられる時代だけど、その手段がない家もある。地震が起きたときにテレビがない場所にいるかもしれないし、携帯の充電が切れているかもしれない。訓練のときに少し思ったのが、この放送（同報無線）は地震のときにもゆっくりしゃべるのかということ。それはないだろうとは思いますが普段ゆっくりだから早くしゃべったとき（速くしゃべるだろうなと思っている）に反響して聞こえにくくなるのではないかと疑問に思ったことがある。  
(女性 20代)
- 正直同報無線はとても聞き取りにくく、不便である。窓を閉めているときは特に聞きづらい。響き過ぎて聞こえない。各家庭に1つ無線機を置くなどの対応をしてほしい。（使いたい人だけでも市から配布してほしい）貸し出しなど…。とても聞こえにくいので、早急に対応してほしい。  
(女性 20代)
- 我が家からでは同報無線がうまく聞き取れないので、メールサービスを利用している。  
(女性 20代)
- たまに同報無線が聞き取りにくいときがある。  
(女性 30代)
- 同報無線は聞き取りにくいときがあるので内容を富士市ウェブサイトと同時に掲載してほしい。  
(女性 30代)
- 場所によっては聞こえる所と聞こえない所がある。  
(女性 30代)
- もう少し聞き取りやすくしてほしい。  
(女性 30代)
- 地域によっては聞こえない所がある。  
(女性 30代)
- 同報無線は途切れて聞こえたり、聞き取りにくかったりするので、対処を考えてほしい。家では、つっぱり棒や食料の備蓄といった対策は多少しているが、どこに集合するかなど、実際に起きたときの決め事などが不十分なので、起こることを想定していろいろな決め事をして地震に備えていきたい。  
(女性 30代)
- 同報無線は時々聞き取りにくいと感じることがある。地震対策については、非常用備蓄品が必要と思っているが、なかなか行動に移せない。  
(女性 30代)
- 放送が聞こえづらい。何回か流れてもこだましてしまい、言っていることがわからないときがある。  
(女性 30代)
- 同報無線が流れているときは、よく聞くようにしているが、聞き取りにくいところがあって、もう少し聞き取りやすくしてもらえると助かる。  
(女性 30代)
- 内容が聞き取れない。音が割れているような感じに聞こえる。  
(女性 30代)
- 同報無線の音が全く聞こえないときがある。毎回何を言っているのか聞き取りにくい。  
(女性 30代)

## V 自由意見

- 同報無線について、女性で高い声の放送のときに、内容が全く聞き取りできない場合がある。  
(女性 30代)
- 窓を閉めていると、同報無線が聞こえないことがよくある。大切なお知らせが聞こえないと困るので、改善してもらいたい。  
(女性 30代)
- 同報無線の発信機が近くに2つあり、2回聞くことになる。1つは近く、音がうるさく感じる。  
(女性 40代)
- 同報無線が聞き取りにくいことがあって困る。  
(女性 40代)
- 同報無線について、自宅が市役所の周辺にあるため、緊急のとき例えば火事、大雨、洪水、土砂災害のとき、救急車、消防車などの出動の音、雨の音などにかき消されて全く同報無線が聞こえない。聞こえるのは行方不明だけだが、たまに風向きによって一番大事な名前や特徴が聞こえないときもあり、協力したくてもできない場合もある。  
(女性 40代)
- 大事なところ、火事の発生場所が聞き取れない、聞き取れたことがほぼない。  
(女性 40代)
- 同報無線がかなり聞き取りづらいが、防災ラジオで聞いて今は大変助かっている。  
(女性 40代)
- 同報無線放送、家にいると余り聞こえない。  
(女性 40代)
- 市の広報が市役所の近くの割には聞こえないので、同報無線で聞くしかない。きっとそんな微妙な地域もあると思う。電気が通らなくなって、ラジオ（電池だからよいけど）が聞こえないのは不安だ。聞こえないというか、何を言っているのかわからないという感じである。  
(女性 40代)
- はっきり聞き取れない。  
(女性 40代)
- 同報無線が何を言っているのかわからないから、聞き取れるようにしてほしい。  
(女性 40代)
- 音が重なり合うためか、はっきり聞き取りにくいことがある。もう少し聞き取りやすくなるとわかりやすい。  
(女性 40代)
- 同報無線はスピーカーの位置で聞こえない家があるそうだ。友人は聞こえないのでわからないようだ。  
(女性 40代)
- 同報無線は必要だと思うが響いてしまってよく聞こえない。メールで確認している。地震も怖いけど、地震後に富士山が噴火するのではないかと心配だ。  
(女性 40代)
- 同報無線は時々聞きにくいときがある。  
(女性 40代)
- 同報無線が聞き取りにくいことがある。市でいろいろな情報を提供してもらっていることにとても感謝している。これからもお願いしたい。  
(女性 40代)
- 同報無線、いつも肝心な部分がエコーと重なって聞こえない。  
(女性 40代)
- 同報無線が風向きによって、あまりはっきりと聞こえないことがあるので、そういうときは困る。  
(女性 40代)
- 家の近くに同報無線がある。初めに遠くの地区の放送が聞こえ、次に家の近くの放送が聞こえる。つまり2回聞こえる。できれば、時間差がないほうがうれしい。  
(女性 40代)
- 同報無線が聞き取れないときが多い。  
(女性 40代)
- 声がかぶってよく聞き取れないことがあって困る。  
(女性 40代)

- 同報無線が聞き取りにくいと思う。(火災の地域名等) (女性 40代)
- 音が余り聞こえない。富士宮市の無線のほう聞こえるときがある。 (女性 40代)
- 放送がはっきりと聞き取れないときがあり不安を感じる。 (女性 50代)
- 同報無線がしっかり聞こえないので調べてほしい。(中里曙町) (女性 50代)
- 同報無線が聞こえにくいことがある。 (女性 50代)
- 同報無線、住んでいる場所のためか昔から内容が聞き取りにくい。 (女性 50代)
- せっかくの同報無線が聞き取れないことが多い。昔から住んでいる人にとって急な放送は不安になる。 (女性 50代)
- 聞き取るとはできるが、はっきりしていない。 (女性 50代)
- 同報無線が聞き取りにくい。 (女性 50代)
- 同報無線は、肝心なところが聞こえないことがよくある(火事の場所など)。でも昔に比べて、音が重なって聞きづらいということはなくなったので、だいぶ聞きやすくなってよいなと思っている。 (女性 50代)
- 聞きにくい場合がある(声がこもってしまう)。 (女性 50代)
- 以前は街なかに住んでおり、情報も多く無線もよく聞こえた。しかし、大淵地区に移ってから無線は全く聞こえない。情報も届かない。新しく移り住んだ者には情報も乏しく、どこに避難するのかさえわからない。すごく不安。 (女性 50代)
- 火災情報など滑舌が悪く聞き取れないことがある。 (女性 50代)
- 聞きたいと思っはいるが、音が割れて聞きにくい。もう少しゆっくりのほうが聞き取りやすいかも。わからない。はっきりと言ってほしい。 (女性 50代)
- 地震が遠のくと、避難用のリュックなどの点検もおろそかになりがちだ。また、何が一番必要なのかなどよくわからず、迷ってしまうことがある。同報無線はいつも大変聞き取りにくく、本当に災害が起きたときの避難などに実際に役立つかどうか心配だ。もう少し聞き取りやすくなるような工夫をお願いしたい。 (女性 50代)
- 同報無線が聞こえづらい、何を言っているかわからないことが多い。 (女性 50代)
- 同報無線放送が聞きづらいときがある。 (女性 50代)
- 同報無線の音が、昔より聞き取りにくくなっている。 (女性 50代)
- 我が家では、同報無線の放送が聞き取りにくく、防災ラジオを購入したがそれも入らない。携帯電話のメールを見るようにしている。地域によって、同報無線は使用できない。 (女性 50代)
- 聞き取りにくいときがあるので、インターネットで流してもらったほうがよいのではないかと。 (女性 50代)
- 同報無線が聞きづらいときがあるので改善してほしい。 (女性 50代)
- 無線は音が反響して聞こえにくいときがある。 (女性 50代)
- 同報無線が何を言っているか、はっきり聞き取れないときがたまにある。 (女性 50代)
- 聞きづらいときがある。 (女性 50代)

## V 自由意見

- 火災などの声が聞きづらい。例えば、富士市役所の場合、富士市役所を2回ゆっくり続けて2回言うてほしい。5分団の場合、今泉の5分団とか神戸の〇分団とか。 (女性 50代)
- 場所によって聞き取りにくい、全く内容がわからない場合がある。無線放送は情報がわからなければ意味がないので、改善してほしい。 (女性 50代)
- 大雨のとき、雨の音でよく聞こえないことがある。 (女性 60代)
- 同報無線は、肝心の箇所になると聞き取りにくくなる。(スピーカー) (特に火災のときなど) 地震は、いつ起きてもおかしくないと心で思いつつ緊迫感が薄く猛省する。この機会に、家族で話をして見直しをする。 (女性 60代)
- 富士市内でも同報無線が聞き取れない所が多い。アナウンスもあまりよくない。肝心なところが聞こえない。富士市の防災ラジオを購入したが、役に立っていない。実際の災害時は放送だけが頼りになることもあり得ると思うが、今は全く役割を果たしていない。 (女性 60代)
- 内容がよく聞き取れないことが多い。 (女性 60代)
- 家の中にいたり、仕事場にいたりすると同報無線の情報が聞き取れないことがあり、少し気にかかる。 (女性 60代)
- 言葉の速度が遅いとイライラする。もっと聞き取りやすい放送のしゃべり方を工夫してほしい。 (女性 60代)
- 同報無線を流す最初の音を考えたほうがよいのでは。火災のときははっきりわかるが、その他のときは、何のお知らせか聞いてみないとよくわからない。地震対策は、いつ起きるかわからないので漠然としている。富士山の噴火に対してどのような行動を起こしてよいかわからないのが現状である。 (女性 60代)
- 家の中にいると放送が聞こえない。外に出るか窓を開けるかしないと聞こえづらい。車の音などで聞きづらい。 (女性 60代)
- 同報無線が聞こえにくい。 (女性 60代)
- 家の中で窓が閉まっていると無線が何を言っているのか聞き取れないときがある。 (女性 60代)
- 無線が聞き取りにくい。最初と最後「こちらは広報ふじです」ははっきりしているが、内容がわからないときがある。 (女性 60代)
- 自宅では同報無線があまり聞こえないので、聞き逃すことが非常に多い。別の手段で情報を得なければならない。 (女性 60代)
- 同報無線は聞き取りにくい。 (女性 60代)
- 十分に内容が聞き取れない場合がある。音も小さい。自主防災会については詳しくわからない。 (女性 60代)
- ゆっくり過ぎて、かえって聞き取りにくい。もう少しわかりやすく歯切れよく、テキパキ知らせてほしい。 (女性 60代)
- 風向きによっては聞きづらいときがある。 (女性 60代)
- 必要だと思うが聞こえづらい。自宅のすぐ近くに直線道路があるので、自動車の音でただでさえ聞こえにくいのに、無線の音も遠くて耳を澄ませて聞いている。 (女性 60代)
- 同報無線が聞こえにくい。 (女性 60代)

- 地区が天間のため、富士宮市の放送も聞こえてくる。はっきり「富士」と言ってほしい。  
(女性 60代)
- 窓を閉めているときに聞こえないため、ゆっくりした発音でお願いしたい。町名や場所がよくわからないことが多いように思う。  
(女性 60代)
- 家が建て込んでいて同報無線の内容が聞き取れない。そのため携帯で富士市メールサービス、パソコンで情報を確認している。場所、内容が示されるので聞き落としがなくよいシステムだと思う。しかし、緊急の場合メールサービスが受信できるか心配である。地震対策については、近隣は高齢者世帯が多く、要支援者の支援や安否確認ができるのか不安が残る。近所や近隣の人との日常からの交流の必要性を感じる。  
(女性 60代)
- 何を言っているのか聞き取れないことが非常に多い。  
(女性 70歳以上)
- 我が家の地域では無線がはっきり聞こえない（耳が悪いのかもしれないが）。何か広報で呼びかけていると思うと、防災ラジオのスイッチを入れるようにしている。内容がよく聞き取れない。  
(女性 70歳以上)
- 同報無線アナウンスの声が聞き取りにくい。男の人の声のほうがわかりやすい。また言い回しは簡潔なことばで、語尾を伸ばさず、最後までしっかり言うほうがわかりやすいと思う。地震対策として地区の避難場所はわかっているが、次の行動が理解されていない。  
(女性 70歳以上)
- 無線放送は人によって聞き取りにくい。  
(女性 70歳以上)
- 同報無線は大変聞き取りにくい（ゆっくり、はっきりしてほしい）。地震発生のお知らせもぜひ市の広報にしてほしい。富士山噴火も報じてほしい。  
(女性 70歳以上)
- 同報無線の入・切のスイッチの音が非常に強い（ガリ、ガリという音）がどうにかならないものか。  
(女性 70歳以上)
- 道路に面しているため、車の騒音で無線放送が聞きにくい。防災ラジオも入りにくい。  
(女性 70歳以上)
- 最初に買ったラジオは感度が悪く役に立たない。広報が一番だと思う。2度放送されるがもう1回放送してほしいときがある。同報無線放送の声が聞き取れない。  
(女性 70歳以上)
- 同報無線が聞き取りにくい。  
(女性 70歳以上)
- 我が家は富士と富士宮の間で無線が二重に聞こえてくる。どちらかわからない。もう少し富士のほうが聞こえるようになってほしい。  
(女性 70歳以上)
- 同報無線（前にくらべて）低い所にあるので放送が聞こえにくくなった。  
(女性 70歳以上)
- どうしたらよいか、わからない。非常食の常備はしておく必要がある。無線放送は、聞きにくい。もっと明瞭に！  
(女性 70歳以上)
- 時々何を伝えているのかわからないときがある。  
(女性 70歳以上)
- 窓が閉まっているとき、よく聞き取れない。  
(女性 70歳以上)
- 先日の大雨のときは放送の言葉が聞き取れなかった。だいぶ前のテレビ番組「ガイアの夜明け」で栃木県のパン屋さんが災害のために「パンのかんづめ」をつくって被災地に送ったり、工場や家庭で買っておいたりしているとのこと、災害用によいと思った。  
(女性 70歳以上)

## V 自由意見

- 家の中にいると、ほとんど聞こえないので何とも言えない。市で購入した防災ラジオも使えない。  
(女性 70 歳以上)
- 同報無線放送はもう少し間のとり方を短くしてほしい。間が長過ぎて前の言葉を忘れてしまいそう。  
(女性 70 歳以上)
- 同報無線はいつも聞き取れない。市役所では、聞こえにくい地域を把握しているのか。  
(女性 年齢不明)
- 大雨洪水警報の同報無線の放送が遅いと思う。もう少し早目にはできないのか。大雨、大風のときは聞き取りにくくわからない。以前買った市の防災ラジオは全然入らず、役に立っていない。非常用備蓄品の販売を市で年に何回か紹介してほしい。だんだんと忘れてしまいそうなので。私たちもそうだが、高齢者世帯、一人世帯、空き家がふえ不安だ。  
(女性 年齢不明)
- 電車、海の音、車の音であまりよく聞こえないことが多い。  
(性別不明 20 代)
- 高齢者のいる世帯には、敬老会のお祝いに商品券などよりは防災ラジオがよいと思う。頼まれたが、市役所に買いに行けない。同報無線が聞こえない。  
(性別不明 50 代)
- 家にいてももう少しはっきり聞こえるようお願いしたい。声が小さいのでわかりにくい。もう少し大きな声で知らせしてほしい。  
(性別不明 70 歳以上)
- うるさいときもある。音が大き過ぎて聞きにくい。  
(性別不明 70 歳以上)
- 聞き取れない。  
(性別不明 年齢不明)

## 同報無線／意義について賛成意見(33 件)

---

- 地震対策は一時期に比べて関心が薄れてきているように感じている。情報収集手段が多様化している中で皆が同じ情報を獲得する難しさを感じる。同報無線は市民への注意、協力を促すために必要な情報を流すべき。時間帯については人員の問題もあると思うので何とも言えない。どの時間帯に流れても迷惑とは感じていない。  
(男性 20 代)
- 同報無線は大切だと思う。  
(男性 20 代)
- 初動が重要と思っているが、慌て過ぎないように、早い段階でのお知らせをお願いしたい。  
(男性 40 代)
- 地域の人々との交流（話し合いなど）がないため、地震対策や同報無線は絶対に必要。ただし、詳細な情報がわからないことや、タイミングが遅い場合もあるように思う。  
(男性 40 代)
- 地震発生時に自分がどこにいるかによって、全く対応が異なるため、まずは自分の身の安全を確保しつつ、ベストな行動を選択していきたい。そのための情報は、大変重要なので、同報無線のスピーカーで正確な情報に期待している。  
(男性 50 代)
- 大変必要である。  
(男性 60 代)
- 継続してほしい。  
(男性 60 代)
- 地震対策をもう少ししっかりやらなくてはと思う。同報無線についてはとても大事だと思っている。耳を傾けてよく聞こえる方向に行き、皆で内容をよく聞いている。  
(男性 60 代)
- 市民に対し情報を提供していて大変助かる。  
(男性 60 代)



- 大変役立っていると思う。 (男性 70 歳以上)
- 携帯電話のメールでどこにいてもすぐに情報が伝わってくるので便利である。 (男性 70 歳以上)
- 青森から息子の住んでいる静岡に来て 2 年と 6 か月、同報無線放送で情報が聞くことができ、本当によかったと思っている。 (男性 70 歳以上)
- いつも注意して聞いている。 (男性 70 歳以上)
- 今のままで十分。 (男性 70 歳以上)
- 高齢者などは同報無線を頼りにしていると思う。 (女性 20 代)
- 地震対策をしないと、と思いつつ、つい今度でよいかと先送りにしてしまう。富士市に越してきて初めて同報無線を知った。大雨洪水警報など、テレビをつけていなくてもわかるのがうれしい。 (女性 20 代)
- 家にいないときや車に乗っているときは、地震の大きさなどがわからないことがあるので、富士市で起きたときや、日本で大きい地震のあったときは無線で教えていただけるとありがたい。 (女性 30 代)
- 地震が起こると、いつも不安を感じるため、同報無線は、なるべくたくさん放送してもらい、少しでも状況がわかるようにしてほしい。 (女性 30 代)
- 行方不明の放送で見つかったときの「無事」という言葉がつくかどうかはすごく気にしている。(一応車で出かけているときなどは行方不明の人を気にするようにしているから) 携帯の防災メールを取り入れているが、火災は入らないので気になる。火災情報も欲しい。 (女性 30 代)
- 行方不明者は、何時であっても放送をしてよいと思う。地震が怖かったので家を建てた。 (女性 30 代)
- 私のスマートフォンに同報無線のメール配信サービスを入れている。放送だけでは聞き取れないこともあるのでとても助かっている。 (女性 40 代)
- 特に、午前 7 時・正午・午後 5 時の時報は、生活の一部となっている。朝の通学、昼、子どもが遊んで帰宅する目安となっていて、習慣化していて助かる。富士宮市は正午・午後 4 時と 8 時に時報があるが、40 年以上富士市に住んでいて、この時刻の時報は本当に助かる。その他の放送も参考にしているので、情報・呼びかけなどは今後もお願いしたい。 (女性 40 代)
- 夜、または家族が全員家にいるときは、一緒に行動し、避難をするときは近くの森島公会堂に避難する。昼間に起きた場合は、それぞれ会社、学校、パート先での指示に従い、自分の身は自分で守る。生きてさえいれば、いずれ必ず出会うことができるはずなので、何事にも諦めない気持ちを持つことが大事だと思う。同報無線については、やはり夜であろうと朝であろうと必要だと思う。何年か前に近所の人が行方がわからなくなり、みんなで探して何時間かしてから、無線を聞いた人が通報してくださり、無事に帰ってこられたことがある。やはり、一遍に大勢の人が無線を聞くのは、ものすごい力だと思う。 (女性 40 代)
- 防災準備としては不十分だと思っているが、天災は避けることのできないものなので、命だけ守ることが大事だと考えている。幸いにも今は動ける体があるので、自力でできることはやって、乗り切りたいという甘い考えを持っている。同報無線は、同じスタンスで続けていくことが大事だと思う。もし自分の身近で何か起きたとき、心強いし、生活のリズムの一部になっている部分もある。携帯への同報無線通知は便利だと思う。 (女性 50 代)

## V 自由意見

- 同報無線放送の火災や行方不明についてのお知らせは時間にとらわれずに流すのも必要ではないか。  
(女性 50代)
- 地震が起きたとき、テレビや電話が通常どおり使用できるとは思えない。情報が得られないと、パニックになると思う。同報無線が機能して、市内に同じ情報が伝わり、少しでも安心感につながることを願っている。同報無線は防災ラジオも利用して聞いている。聞き取りやすくしてよい。地震が実際に発生したらどうになってしまうか正直なところわからない。  
(女性 50代)
- 自分なりに工夫した対策で満足している。同報無線についてはわかりやすく、感謝している。  
(女性 60代)
- 同報無線が聞き取れないときがほとんどである。もうちょっと感度をよくすることはできないのか。放送は要らないと聞いたこともあるが、行方不明のお知らせ、子どもたちに時間を知らせるなど、絶対に必要なものだ。市民一人一人が自分のことだけではなく、他の人たちにも気を配る思いやりが必要だと思う。市民が一丸にならないとよいまちづくりは望めない。  
(女性 60代)
- 大淵地区は、地震対策が必要と思う。同報無線は、情報を得る上で、重要な手段でありがたい。  
(女性 60代)
- 家の中の壁など大きなひびが入り、恐怖の余り家族で車の中に入って避難して大変な思いをした。他県の地震のとき富士市の震度が出なくても私の家では体を感じる。市の無線には常に耳を傾けている。  
(女性 60代)
- 地震にどこで遭遇するか、その場所によって対応はさまざまだと感じている。日々とても不安に思う。最低限自分の住居の回りの危険箇所はチェックしておこうと思っている。同報無線からは今地域で起こっている事象を知る上でとても大切に感じている。拡声器の近くに住む方は騒音を感じている人もいるとか。皆が幸福を感じることは大変な配慮が必要で行政は頭が痛いことだと思う。  
(女性 70歳以上)
- 私たちの地域（松野地区）は富士川を挟んで富士市・富士宮市の放送が聞こえてくる。家の中に防災ラジオがあることにより、はっきり聞くことができ助かっている。昨年取り付けた。大変よかったと思っている。  
(女性 70歳以上)
- 子どものころから耳になじんでいる。日曜日の“富士山”。多分ないと“寂しい”と思う。6月から我が家は以前より放送の音が聞こえにくくなった気がする。同じ人の声のほう聞きやすいと思う。  
(性別不明 60代)

### 同報無線／防災ラジオが聞こえない(25件)

---

- 同報無線が聞き取りにくく、高齢者もいることから、防災ラジオを入れているがほとんど聞こえず意味がない。  
(男性 50代)
- 音が反響して聞き取れない。防災ラジオが受信できない。  
(男性 50代)
- 市の防災ラジオの感度が悪い。  
(男性 60代)
- 防災ラジオの入りがよくない。もっと性能のよいものに変えたい。  
(男性 60代)
- 同報無線が聞こえにくい。防災ラジオも同様。  
(男性 60代)
- 富士市防災ラジオを購入してあるが、よく聞こえないので困っている。  
(男性 70歳以上)

- 地震対策について、今後少し改善してみようと思う。同報無線について、活用範囲を広げたほうがよいと思う。〈お願い〉防災ラジオは高価でもよく、高性能でよく聞こえるものを販売してほしい。  
(男性 70 歳以上)
- 防災ラジオを購入したが入らない。行方不明、火災などの広報が遅いような気がする。  
(男性 70 歳以上)
- 防災ラジオを買いかえたがよく入らない。  
(男性 70 歳以上)
- 防災ラジオの調子が悪い(古い、音量不可)。感度のよい最新の物を、市の補助で安価に配布してほしい。  
(男性 70 歳以上)
- 防災ラジオの感度が不安定で、受信できるときとできないときがある。新東名の関係かもしれない。調査してほしい。  
(男性 70 歳以上)
- たいへん便利でありがたい。  
(男性 70 歳以上)
- 大淵地区に住んでいる。防災ラジオを購入していたが、3回購入し、1年ももたないで壊れている。いかななものか、品質を疑うところである。今では使っていない。  
(男性 70 歳以上)
- 防災ラジオを購入したが、家の構造上どの場所でも聞こえない。同報無線は言葉がはっきり聞こえない。  
(女性 30 代)
- 防災ラジオの入りが悪く、緊急の情報を知ることができるか不安だ。  
(女性 50 代)
- 聞く準備ができていないため放送が聞き取りにくい場合がある。防災ラジオを入手したが、すぐに使用できなくなった。雑音のみで、放送がキャッチできない。  
(女性 50 代)
- 電源をオンにしてもあまり使えない。携帯メールでも十分かと思う。  
(女性 50 代)
- 電波が悪いため聞き取れない。電池が入れっぱなしなので、うっかりすると交換し忘れる。買い置きも忘れてしまう。いざというときに心配だ。常に買い置きしておけばよいが。  
(女性 50 代)
- 防災ラジオを買ったが、電波が届かなくて全然入らない。  
(女性 60 代)
- 私の家では、富士市で買った防災ラジオがよく聞こえるが、使えない、聞こえないなどの声を耳にする。場所によって使えない所などあるのだろうか。私の家では、毎日使って聞いている。  
(女性 60 代)
- 防災ラジオが現在2台目だが、最近また調子が悪い。もう少ししっかりした物がほしい。  
(女性 60 代)
- 雑音が多いことが気になる。  
(女性 60 代)
- 防災ラジオの同報無線が全く入らない。ラジオはよく入るが。位置や向きを変えても全く入らない。どうしたらよいのか。  
(女性 70 歳以上)
- 自宅の場所と放送スピーカーの位置の関係か聞こえにくいことが多い。防災ラジオでも結局電波が入りにくく聞こえにくいので、常時電源を入れていない。  
(女性 70 歳以上)
- 放送がほとんど聞き取れない。(家の外へ出て何とか) 防災ラジオは2回も購入したが、窓の外へアンテナを出さないとダメ。  
(女性 70 歳以上)

## 同報無線／要望(25件)

---

- 夜中の放送がうるさい。 (男性 20代)
- 行方不明者の放送をしても、誰か知らない人が多いと思う。服装など詳しく放送したほうがよいと思う。 (男性 30代)
- 同報無線は、子どもが寝ている夜の時間は、起きてしまう可能性があるのでやめてほしい。地震など緊急のときはありがたいが…。 (男性 30代)
- 同報無線をもう少し市内で行われるイベントなどを知らせるために使えないか。 (男性 30代)
- 同報無線は、午後5時より、午後4時か4時30分に音楽が流れるようにしたら子どもたちに帰宅を知らせることができて便利だと思う。 (男性 40代)
- 子どもの下校など、緊急性のない放送は極力なくすべき。 (男性 40代)
- 元吉原地区に住んでいる。東日本大震災の映像で津波が心配になったが、防潮堤がしっかりしているので大丈夫とのこと。市の広報メールは全市一律でなく、海岸付近、市街地、山間地など分けてより細かな情報を発信してくれればと思う。 (男性 60代)
- 全て必要であるが、火災については当方は旧富士川町なので、旧富士市側の火災は延焼しないと思われる。特に夜間についてはいたずらにやかましい。この機会にやめてほしい。 (男性 70歳以上)
- アマチュア無線の活動を有効に働きかける。携帯電話、自宅電話使用できないため。 (男性 70歳以上)
- どういったものをどこまで用意すべきか不明確な点が多いので、安心とは言えず、インターネットなども情報が多過ぎてわからなくなってしまふ。無線については、黙祷などはやめるべきであると思う。しかし、子どもたちに尋ねると「そんなの流れていたかな」との声も多いので、活動を呼びかけるべきだと思う。行方不明者なども地域で協力できるので流したほうがよいと思う。 (女性 20代)
- いつ起きてもおかしくない地震なので、もっと対策を考えなくてはならないと思っている。同報無線がたまに子どものお昼寝などの邪魔だなど思うことがある。 (女性 20代)
- 防災ラジオを以前配っていた(売っていた)がもう手に入らないのか。各家庭に配ってもらえるとうれしい(もっと安いものでもよい)。 (女性 30代)
- 同報無線のスピーカーが近いため、とにかくうるさい。昼寝中や就寝中の子どもたちが起きてしまうことも多く、困っている。火災や行方不明の放送はやむを得ないと思うが、遠く離れた地域の情報は要らないと思う。地域を区切って放送してほしい。また20時以降はできるだけやめてほしい。今は多くの人が携帯電話を持っているため、緊急地震速報のような同報無線以外の情報提供方法も検討してほしい。 (女性 30代)
- 同報無線の放送時間だが、緊急時は時間問わず流してもよいと思うが、お知らせなどは、時間によっては少し配慮が必要とも思う。「緊急かな」と思い耳を傾けたとき、そうでなかったことがあった。 (女性 30代)
- 余り関係のない地域の情報は必要な所にだけ流せないかなと思う。(火災など) (女性 30代)

- 同報無線は夜（例えば 20 時以降）、緊急放送以外は音量を少し小さくし、聞きたい人が聞ける程度にしてほしいと思ったことがある。（女性 30 代）
- 午後 5 時は時報だけでなく、平日も音楽などで知らせてくれるほうがよいと思う。子どもたちが遊んでいても、聞き逃すことがないように…。（女性 40 代）
- 日曜 17 時の「ふじの山」は日曜の昼に流したらよいと思う。同報無線は夜中に行うときは避難すべき地区の名前を言ったほうがよいと思う。そして、耳の不自由な高齢者に対して、どう対処しているのか（昼夜関係なく）。地震対策については高齢世帯、ひとり暮らしの方々はどう対処しているのか、近所の人たちにどう依頼し、緊急時に応援してもらうのか気になる。（女性 40 代）
- 時報の中に、4 時 45 分を加えたらよいと思う。もしくは 5 時を変更する。外で遊んでいる子どもたちには「5 時には帰宅」という、学校からの決まりがあるが、時計がない所では、遊びに夢中になり時間に気づかず、5 時の時報が鳴ってから帰路につく子どもが多い。4 時 45 分に子ども向けの時報を加えたら、それを合図に帰路につけるのではないかと思う。（女性 40 代）
- 子どもが小さい頃、朝 7 時の時報で起きてしまったことがあるので、深夜や早朝の時報は、音量を下げしてほしい。（女性 50 代）
- 大雨などの警報を出すタイミングが大事だと思う（幸いひどい被害にあったことはないが）。（女性 50 代）
- 火事などの場合、伝法地区ならその地区に限定した放送などができないか。（女性 50 代）
- 同報無線は日曜だけ夕方「ふじの山」が流れるが、毎日夕方 5 時になると曲が流れるとよいと思っている。9 月と 12 月に総合の防災訓練があるが、何代目か前の市長のときまでは訓練後の市民講評が同報無線を通してあったが、一言あったほうがよいのではと感じている。15 日は子どもを守る安全週間の日だという放送を耳にするが、15 日にこだわらないで、週 1 回くらいでもその時々で曜日を変えて放送するほうがよいと思う。（女性 50 代）
- 同報無線について、「何か広報で言っている」と聞く態勢になったときは既に最後の「広報ふじです」しか聞こえない。特に窓を閉め切っているとき、大雨のときなどこれが我が家の現実である。本当に緊急で高齢者に必要なときだけでよい。「広報ふじです。〇〇のお知らせです」…最後の「広報ふじです」のかわりにもう一度「〇〇のお知らせでした」という言い方にすれば、用件がよく理解できるのだが。（女性 70 歳以上）
- 夜中の火災情報はその地区のみで放送してほしい。（性別不明 年齢不明）

## 同報無線／その他(5 件)

---

- 同報無線、市の災害情報（ラジオエフ）、富士市コールセンター、富士市ウェブサイト、富士市公式ツイッター、富士市フェイスブック、富士市ユーチューブとこんなに何種類もの広報があることを知らなかった（内容はわからないが）。いろいろな種類の情報源があるが、これらを 1 つか 2 つにすれば人件費も削減できるのではないか。（男性 70 歳以上）
- 同報無線について。大雨警報時にテレビなど、報道に注意せよとの放送はあまりにも無責任すぎないか。また災害地域は注意せよとは。該当しない地域はどう行動すればよいのか。「とりあえず放送しておけばよい」というものでは困る。市民目線で放送してほしい。（男性 70 歳以上）

## V 自由意見

- 同報無線は、緊急の場合には仕方がないと思いつつも、夜8時を過ぎると小さい子どもがいる家庭では寝かしつけに入るが、そのときちょうど放送が入ると、子どもの目が覚めてしまうので、本当に困る。夜泣きで何度も起こされて、やっと寝たと思ったら同報無線で起こされたということがあるので。特にスピーカーが近い家の人など、子どもが怖くて泣いて起きると聞いたことがある。放送内容で、行方不明や火事などで困っている人がいるのかなと思うと仕方がないことだが。  
(女性 30代)
- 同報無線は停電した場合でも放送できるのか？  
(女性 60代)
- これは「広報ふじ」の無線放送と別だと思うが、日ごろ感じていたことである。時々行方不明者についての協力放送が入るが、長年ほかにはあまりない珍しい放送だと思っていた。個人情報、プライバシー保護の法律が制定されてからも続いているが、驚くより何十年もの間のおつき合いになれっこになってしまっている。もちろん了解あつての放送、役に立っている結果から続いていると思うが、富士市に住んでみておもしろい経験をした。  
(女性 60代)